

平成30年第5回横手市議会9月定例会 一般質問要旨

■ 一般質問の日程

平成30年9月4日（火）～6日（木） 本会議

※午前10時、開会の予定です。

■ 一般質問の順序

期日	順番	議席番号	議員名	質問区分	頁
4日	1	8番	寿松木孝議員	一問一答	1
	2	11番	立身万千子議員	一括	2
	3	2番	高橋和樹議員	一問一答	4
5日	4	24番	土田百合子議員	一括	5
	5	13番	菅原正志議員	一問一答	7
	6	12番	菅原亀代嗣議員	一括	8
6日	7	10番	鈴木勝雄議員	一括	10
	8	4番	大日向香輝議員	一括	11
	9	3番	山形健二議員	一括	12

※質問区分の説明

- 一 括・・・「一括質問一括答弁方式」の質問方法で、議員が質問項目すべてを演壇で一括して質問し、その後、執行部（市長や教育長など）が演壇でその質問項目に対して一括して答弁を行います。再質問は、議員は質問席で行い、執行部は自席で答弁します。
- 一問一答・・・「一問一答方式」の質問方法で、議員は質問席から1つの質問項目ごとに質問し、執行部は自席から答弁を行います。

1. 【8番 寿松木 孝 議員】（一問一答）

1. 今後の施設整備について

- 1) 示された計画では、合併特例債の発行上限額の95.1%を活用するとされているが、その判断に至る経緯について伺う。また、財政的にも心配される状況だが、その内容について伺う。
- 2) 施設整備の方向性を確認するための市民アンケートを実施したが、その意図について伺う。
- 3) 横手駅東口の再開発事業は、市長の選挙公約との事で突然表明され現在に至っているが、その事業の趣旨からも民間主導で進めるべきと考えるが如何か。

2. 公共工事の発注について

- 1) 昨年の大雨災害の復旧工事が本格化してから市が発注する公共工事の入札参加者が激減し、不落となる状況もあるようだが、その現状を伺う。
また、今後の発注の方向性についても伺う。

2. 【11番 立身 万千子 議員】(一括質問一括答弁)

平成31年度組織機構再編方針(案)について

人口減少・少子高齢化等社会情勢の変化に伴う様々な課題を解決して市民福祉の向上を図るためには、市役所職員が働きやすく、かつ、市民サービスの継続発展という方向で行政組織機構を再編していくことが必要と考える。しかし、8月17日に市総合政策部から提案され半年間という短い猶予しかない再編方針案については、市民の立場から少なからず不安、疑問を払拭できない。まずは私見を述べ、次のとおり問題を提起して市長の考えを問う。

1. 「子育て支援課」を教育委員会所管とすることについて

健康福祉部所管の4つの係のうち、児童家庭係のみを新設予定の「市民福祉部」の「市民支援課」に配属させ、幼保係、子ども育成係、保育環境整備係の3部門で「子育て支援課」とし、教育委員会に所属させる案について2点問う。

- 1) 子どもは「あそび」を通して成長すると考える。「理想の子ども像」を追求することが優先されて、学ぶことが第一義となり、子どもの「あそび」を保証できるか。
- 2) 厚労省管轄の「放課後児童クラブ(学童保育)」を文科省管轄の「放課後子ども教室」に一本化させる布石ではないかと懸念するがどうか。

2. 「建設水道部」の設置について

事業の実施における業務連携の強化や専門的な職員の柔軟な配置を図るためとのことだが2点質問する。

- 1) 建設部門と水道部門の業務内容が類似であることは理解するが、設計や現場の管理等が同時期に複数発生することがありうる。その場合、調整・協力といった体制が職員数減少の中で現実として可能なのか。
- 2) 国は水道法改正を視野に置き、水道事業の民営化を図ろうと動いている。横手市もそれを目論んでいるのではないかと懸念するがどうか。

3. 「地域協働部」と「市民センター」の設置及び、「市民福祉部」との関連について

現まちづくり推進部の機能を維持しつつ、地区交流センターを軸とした新たな協働の形を推進するため「地域協働部」を設置する。そして各地域の窓口機能を一元化し、市民生活に直結したサービス機能に特化するため「市民センター」を設置する。さらに、市民にとって最も身近な窓口業務の所管部門を一元化し、市民センター窓口のワンストップ化を推進するため「市民福祉部」を設置することで2点問う。

- 1) 軸となるべき「地区交流センター」は全市に定着しておらず、各地域局の2課を「市民センター」と統一して名称を変えることからの市民の混乱を懸念するがどうか。
- 2) 窓口機能を一元化することは歓迎するが「市民センター窓口」のワンストップ化を推進するための「市民福祉部」設置とはどういうことか問う。

4. 「組織再編後の地域局業務の流れ」について

市民サービスを維持するため窓口体制の構築は必要と考える。方針案で経験豊富な再任用職員が「窓口コンシェルジュ」として配置されるとすることは市民にとってありがたい。それを踏まえて1点質問する。

- 1) 「窓口定型業務のアウトソーシング」を推進することの問題点は何か。それをどう克服する考えか。

3. 【2番 高橋 和樹 議員】（一問一答）

1. 市長の政治姿勢について

- 1) 「横手市の施設展望」から、横手駅東口における市街地再開発事業について伺う。
- 2) 平成31年度組織機構再編方針（案）の検討状況について伺う。
- 3) 「横手市職員の安全衛生管理」から、メンタルヘルス対策について伺う。

4. 【24番 土田 百合子 議員】(一括質問一括答弁)

1. 「横手市子どもの権利条例制定」の考えについて

当市では、平成20年10月に「横手市子どもの権利宣言」を行い、子どもの権利を尊重するまちづくりに取り組んでおり評価はしているが、近年の子どもの育つ環境の変化により、いじめや不登校、命を脅かす児童虐待など問題は増えている状況にある。「子どもの権利宣言」から10年を迎え、次のステップとして子どもの権利条例を制定し、取り組む考えについて市長の見解を伺う。(平成26年6月定例議会一般質問)

2. 防災のまちづくりについて(総務文教常任委員会視察から)

香川県丸亀市川西地区自主防災のまちづくりについて視察し、「我が地域は、我々の手で守るしかない」という地域をまとめるリーダーの存在が大事なポイントであると感じた。また、行政に依存しない方向で企業や大学の協力を得て、あくまでも自主自立型で、活動を推進している事や、地元小学校での防災教育の取り組みが、子どもたちへの「防災文化」の形成につながっている。今後の当市の取り組みについて伺う。

- 1) 現在、地区交流センター化が進められているが、災害が起きた時に、早急に対応できる体制や、地区の具体的な防災マップの作成などについて伺う。
- 2) 最近の異常気象により、防災意識は大変関心が高いと感じている。リーダーの育成や災害時要援護者支援について今後の取り組みを伺う。
- 3) 横手市防災マップの使い方については、住民に丁寧な説明があれば次の段階に進むことができると思うがどうか。
- 4) アンダーパスの安全対策について伺う。

大雨の場合、鉄道やほかの道路をくぐって通る道はそこだけ低くなっているため水がたまりやすく注意が必要である。具体的には、冠水時に通行禁止を告知する①表示版の設置、②回転灯などの総点検・新設、③ドライバーへの意識啓発のための路面標示、④緊急時に、迅速な人員配備態勢などが考えられる。

3. 教育情報化推進について（総務文教常任委員会視察から）

当市の小・中学校におけるICT機器やネットワークの整備状況について伺う。

愛媛県西条市では、平成27年度から先進的なICT教育推進事業を本格的に進めており、小・中学校に「電子黒板・デジタル教科書類」や「総合型校務システム・テレワーク」、「児童・生徒用タブレットPC活用」等を導入している。ICT支援員が、先生方の授業の内容や準備をサポートするなど、重要な役割を果たしている。校務支援システムの導入にあわせて、小・中学校出席簿の統一や、成績処理、保健室業務などの、記載すべき情報を必要最低限に絞り、作業効率の向上を図り、スマートスクールを目指している。また、西条市の特徴的な取り組みとして、学校間の教室を繋ぐ合同授業を行う「バーチャルクラスルーム」の実現である。横手市では、児童生徒の減少により、小規模校が増える中で「学校統合」を選択してきたが、西条市は統合をしない方向で、ICT教育で小規模校の教育の質の向上を図ることで「地域の学校」を存続させている。必ずしも、最初から「統合ありき」ではない選択肢もある。これからの学校統合の中で、子どもたちにとってどのような環境の中で勉強することが良いのか、議論が必要と考える。今回の視察を通じて、ICTの活用は必須であり、逃れることはできない時代に到達していることを改めて痛感させられた。第3期教育振興基本計画では、2020年度までに、小学校ではプログラミング教育が必修化となることから、今後のICT環境整備について伺う。

4. 市立小・中学校の空調（冷房）設置状況について

秋田県内のほとんどの小・中学校の普通教室には空調（冷房）設置はされていない状況にあるが、7月に入り30度以上の真夏日が続いていることから考えを伺う。

5. 【13番 菅原 正志 議員】（一問一答）

1. 地区交流センターについて

- 1) 持続可能な地域づくりのためにはセンター化の取り組みは重要と思う。それを進めるにあたっての本気度を伺う。
- 2) センター化に向けての現状はどうなっているのか。
- 3) センター化に向けての課題をどう捉えているのか。
- 4) 市の再任用職員を地域協働の専門職として配置してはどうか。

2. 市民満足度を高める職員配置について

- 1) 適性或資質を把握した職員配置となっているか。
- 2) チェック体制の強化、不祥事の再発防止の具体策について伺う。
- 3) 機能的な組織運営のための職員配置をどう考えるのか。

3. 横手市財産経営推進計画（FM計画）の進捗状況について

- 1) 計画の浸透度など懸念される点について伺う。
- 2) 経過の可視化についてどう考えるか。

6. 【12番 菅原 亀代嗣 議員】(一括質問一括答弁)

1. 小中学校の熱中症対策について

- 1) 熱中症対策のマニュアルについて伺う。
- 2) 熱中症指数モニターなどの導入について伺う。
- 3) エアコンの設置率について伺う。
- 4) エアコンの整備について伺う。
- 5) 増田中学校の工事について伺う。
- 6) 十文字地域統合小学校について伺う。

2. 工事契約などについて

- 1) 議決案件の早期発注について伺う。
- 2) 不落・応札者なしについて伺う。
- 3) 技術職の検査員について伺う。
- 4) J Vの基準について伺う。
- 5) 中央のゼネコンが参加する基準について伺う。

3. 成人式について

- 1) 成人年齢が18歳となった場合、開催時期について伺う。
- 2) 同上、開催方法について伺う。
- 3) 同上、20歳のお祝いの会について伺う。
- 4) 還暦祝いの会について伺う。

7. 【10番 鈴木 勝雄 議員】（一括質問一括答弁）

1. 農業振興施策について

- 1) J A秋田ふるさととの園芸協定の取り組みの進捗について伺う。
- 2) 農業生産基盤整備事業における所得補償について伺う。
- 3) 多面的機能支払交付金事業における樹園地等の取り扱いについて伺う。

8. 【4番 大日向 香輝 議員】（一括質問一括答弁）

1. 有害鳥獣の被害防止について

- 1) センサーカメラを4台設置して調査をしているようだが、現時点でどのような結果になっているのか伺う。
- 2) 「緩衝帯等整備事業」の成果と継続性について伺う。
- 3) ゾーニング管理やクマが出没している公園や学校周辺でのクマの出没しにくい環境整備の実施や電気柵の設置が有効と思うが、この点についてどのように考えているか伺う。
- 4) 被害を防ぐための最低限の方策について指導を強化していくべきであると思うが、考えを伺う。
- 5) 林業費の有害鳥獣駆除事業の予算を増やすなど、強化を図ることが出来ないか伺う。

9. 【3番 山形 健二 議員】（一括質問一括答弁）

1. ひとり親家庭への支援について

- 1) 近年、ひとり親家庭が増えていると聞くが、市の現状と今後の支援の方向性について伺う。

2. 地域おこし協力隊の導入について

- 1) なぜ導入しないのか。検討の結果を伺う。

3. 増田まんが美術館について

- 1) 経営見通しと将来展望について伺う。

4. 指定管理者制度について

- 1) 費用対効果やサービス水準の検証はしているか伺う。
- 2) 指定管理料の算定方法について伺う。

平成30年9月定例会日程予定【会期26日間】

- **本会議** 午前10時開会予定です・傍聴できます ——
- ◇8月27日（月） 〔開会〕議案上程 ほか
 - ◇9月 4日（火） 一般質問
 - ◇9月 5日（水） 一般質問
 - ◇9月 6日（木） 一般質問
 - ◇9月21日（金） 委員長報告 ほか 〔閉会〕
- 傍聴席は本庁舎7階です —

- **委員会** ——
- ◇8月27日（月） 一般会計予算特別委員会
 - ◇8月27日（月）～28日（火）
決算特別委員会
 - ◇9月10日（月）～13日（木）
決算特別委員会分科会、各常任委員会、
一般会計予算特別委員会分科会
 - ◇9月19日（水） 決算特別委員会
 - ◇9月21日（金） 一般会計予算特別委員会

横手市

検索

横手市のホームページにあります、

議会のコーナーをクリックしてください。

本会議録画・会議記録・市議会だよりを
いつでもご覧いただけます。

◇ 横手市議会事務局 ◇

〒013-8601 横手市中央町8番2号（横手市役所 本庁舎 6階）

TEL：0182-32-2535 FAX：0182-32-6539

E-mail：gikai@city.yokote.lg.jp

横手市議会マスコットキャラクター

“しらとり議員”

